みんのりの地図 川岡東

KAWAOKA HIGASHI

川岡東の「生き字引」さん

【津田さん】

ご先祖様は「大人の八郎兵衛」とよばれ、川岡東の知識人としての四を務める受け継いでおられる津田さん。

地主として代々川岡東農業に貢献され、地域発展と共に歩んでこられました。津田さんの御宅は景観建造物ですが、津田さんそのものが文化財のよう。なんというても川岡東の歴史を知り尽くしていらっしゃいます。川岡東学区を語るうえで、欠くてはならない存在の津田さん。

自治会の活動だけでなく、町の歴史や成り立ちを研究し、地域に住む住民の人に伝える活動（ウォーキングマップ作りなど）も精力的にされています。「これから川岡東はもっと人との繋がりを意識できるような町にしたいかんとな」と語る津田さん。川岡東の歴史を語りながら時のやさしい表情からは、地域のことをとても大切にされているのだなと感じました。

その知識の深さ広さゆえに、ふとしたことがきっかけで、川岡東の深くもひしひしと伝わってきました。

津田さん

無火災地区を地域と共に目指す

【川岡東消防分団】

昨年の6月、西東区の代表で出場した総合全関（全地区の消防分団が出場し、日頃の訓練の成果を忠実で競う大会）で優勝された川岡東分団。分団長の林さんは、優勝の秘訣は「分団内の団結力と地域と密着して作ってきた防火意識の高さ」だと言います。なんと、大会の2ヶ月前から毎日集まり練習されていたそう。まさに努力の結晶です。

普段は消防隊の後方支援や、地域の方と一緒に学区内を見回り、無火災推進活動などを行なっています。団員さんたちは、何かあったらすぐに集まることを楽しんでいるように感じました。朝ラジオでありながらも、しっかりと川岡東学区を守る姿は凛々しく、頼りになる川岡東消防分団の皆さんです。

目指せ無火災地区！

分団長 林さん

消防分団のみなさん

元気が一番！ボランティアの心

【川岡東女性会長 辻井さん】

川岡東学区が生まれた頃からお住まいで、長年女性会の会長として活躍されています。桂川園でのお茶だてや書道のボランティア、家庭ラウンジの運営などの長年活動など、エネルギッシュに努められております。また、辻井さんは18年間、消防分団でも活躍されていました。

さらに辻井さんは趣味で10年以上茶道をされていて、若々しく年齢を感じさせないほど元気です。若い人がどんどん増え、世代交代の川岡東学区について「以前にしていけたら」と、語る辻井さん。人と人の繋がりを深く意識されていました。

辻井さん

子育てへの情熱が源！

【くすのき保育園】

「子どもを育てることが、地域をよくする手助けになると思うんです」と語るくすのき保育園の園長、池田さん。

明らかな地域の内には独自の子育て援助を研究、育児本も出版されているほど子育てへの熱意をお持ちです。なかでも驚いたのは、園の遊び道具はそれぞれの発育に合わせ、先生方が夏休みに一つ一つ手作りされていること。また、育児に悩むお母さんの育児相談を受けていたり、毎年10月に子ども運動会というイベントがあったりと、様々な工夫が生きている保育園です。

手づくりのおもちゃ

園長 池田さん

「あたりまえ」の優しさ

【川岡東小学校 桂川中学校】

川岡東小学校、桂川中学校は桂川園に近接していて、生徒たちは桂川園と様々な交流があります。小学校では車椅子の寄付や、夏休みには清掃ボランティアなどの活動を行っています。また、中学校では吹奏楽部が出向いてコンサートを開催したり、行事ごとに桂川園の方たちを招待したり、されたりです。それだけでなく、子どもたちは学校帰りに授産所に寄ってお利用者さんたちとボードゲームを楽しんでいることに驚きます。川岡東小のすべてのこどもたちにとって、助け合うことは特別なことではなく、日常生活の中に自然に根付いています。

桂川中 徳地教頭先生

川岡東小 稲田教頭先生 出口教務主任

川岡東小の児童たち

自然と手を合わせる子が育つ

【すすき親保育園】

大きなイチョウの木がシンボルの千瀬青園は静謐な敷地内にあり、おおらかな子どもたちが育ちます。園の庭には出産を呼ばれる花を菖蒲や、大地蔵や個の地蔵尊などがあり、園児たちは自然と手を合わせる環境で過ごしています。青は地元のすどたちがお彩りの景観の上を走り回ったり、ハシビロコウ、今では園児たちはおきの縁側でおやつを食べることもあるそうです。

「卒園生が訪ねてくることがあり、園が心のふるさとであることが嬉しいと語る理事長の嶋本弘特さんや、長の弘元さんなど、優しい和尚さんの心が受け継がれている保育園です。

園長 弘元さん

理事長 嶋本さん

地域に支えられこれからも

【高齢者桂川園】

総合福祉施設の桂川園。高齢者と障がい者が共に生活しやすい設備は全国でも珍しいそうです。地域ボランティアや社会参加によるボランティア、保育園児とのふれあい交流などで、福祉につけての理解や助参加も関係されるなど、川岡東学区の人たちとの繋がりがとても強いのが桂川園。施設の職員さんたちは皆さん生き生きとされていて、「地域の花を助けられるもう人ってとは嬉しい」と語られました。特に子どもたちの交流できる機会は利用者さんたちとても大きな楽しみの一つで、「国家資格はないけど教えあうのはとても楽しい」と、何かを教える側になることで明るく積極的になるといいます。

川岡東学区に住む人たちにとって駐車場深く、明るい家園の桂川園では、やさしい心が育まれています。

スタッフのみなさん

園長 山岸さん

助け合いで出来上がるおいしい野菜

【農家 清水さん】

「この土地に生まれることが出来たから農家をしていますね」と語る清水さん。30歳と若く、この川岡東の土地で試行錯誤を繰り返しながら野菜を育てる毎日を過ごしています。子育てと同じように農家と向き合い、農家同士や地域の人との助け合いがあって、美味しい野菜が作れるそう。

その為には苦労も多いけれど、代々受け継いできた信頼を守りながら、美味しい野菜を作ることにかけり情熱に、私たちも胸が熱くなりました。これから九条ネギが旬の時期なので、美味しいネギが楽しみです。

清水さん

人見さん

【農家 古田さん】

川岡東を農業のことを聞くなら古田さん！と言われるベテラン農家の古田さん。上記の清水さんと親にされている先生のような存在です。そんな古田さんでも、自然が相手の農業は厳しさが付き物とまい至ます。年一年に天候や気温が違うため、野菜同じ出来とは限らないので、「毎年一年生」と語られていました。

川岡東で作った野菜を地域の人に「おいしい」「もっと欲しい」と言ってもらうことが嬉しいと笑い、奥さんと二人三脚で続けておられます。

農家としてのプライドと誇りを感じました。

※古田さんの野菜は御来屋ふれんぱの「ゆめが」さんで販売しています。

古田さん

スポーツで世代をこえて交流を深める

【人見さん 才村さん 関谷さん】

川岡東学区では、体力向上とともに、親睦を深めるための行事がありますが、ご老人から小学生まで幅広い年齢層の人たちが参加する体育振興会では、多くの住民が出場する体育祭を実施しています。運営の中心である人見さんは、学区体育祭や約千五百人もの人員を動かしたそう！

「地域の人たちの協力のおかげでやってこれた」と語られました。現在も努力的に取り組まれており、回を重ねるごとに新しい方々の参加も増えています。

また、毎年4月にはジョギング大会が行われます。決められた距離でのタイムと競うのではなく、あらかじめ目標としたタイムに一番近い時間で走ったチームが優勝となる団体戦です。完走したチームにはお大根やせんべいがふるまわれます。大根は今年相撲部員がお世話を育てたもので、その数なんと2700～800本！お餅は地域の子ども達が杵でついたもので、家い本部でも手作りのぬくもりが感じられます。

「子どもたちと地域が一体となって長く続けられる行事がほしい」という思いでこのジョギング大会を始めた才村さん。今では川岡東小学校、桂川中学校の生徒もたくさん協力しています。

関谷さん

才村さん

大正10年から続く新鮮な卵づくり

【養鶏場 戸倉さん】

「自然が相手やから嘘はつけへんな」だから美味しいに決まっとる」と語る戸倉さん。まだ牛乳瓶中小さな村だった頃から続く養鶏場を、引き継いでいます。養鶏場では直接卵を販売しています。地域の人や、卵好きの人が買いにくるようで、生で食べられますか？なんて聞かれると帰ってもらうこともあるそう。「これより新鮮なモノはないんやから」と語られる通り、とれたてのおいしい卵をいただくことができます。

「つらいと言ってたら何も出来ひん。」とおっしゃる戸倉さんのお言葉には、長年休まず真面目に卵作りに向き合ってきた自信を感じました。

戸倉さん